

週報

WEEKLY REPORT

Rotary International District 2720 Kumamoto South Rotary Club



RIテーマ

ロータリー：
変化をもたらす

第2回例会記録(通算第 2733 回)

平成 29(2017)年7月10日

斉唱 国家 君が代

ロータリーソング「それでこそロータリー」

来訪者紹介

盧麗娜様 (熊本中央 RC)

www.kumamoto-southrc.org



7月6日(木)「第1回ローターアクト6クラブ合同例会」より

国際ロータリー第 2720 地区

熊本南ロータリークラブ

2017-2018 年度 国際ロータリー会長 イアン H.S. ライズリー

例会日：毎週月曜日 12:30~13:30

例会場：〒860-8535 熊本市中央区上通町 2-1 ホテル日航熊本内

創立日：昭和 33 年 9 月 1 日 (承認昭和 33 年 11 月 24 日)

会 長：今村 浩昭 / 幹事 玉田 光識 / クラブ広報委員長 / 大津英敬



[今日]
例 会

- 1 今日の歌
- 2 来訪者紹介
- 3 会長・幹事報告
- 4 外部卓話 田村祐輔様
(鶴屋百貨店 常務取締役)

[今月/来月]
行 事

- 7/29-30 RI 第 2720 地区 第 33 回 IAC 年次大会@東九州龍谷高等学校
- 8/3-8 短期青少年交換留学事業 (受け入れ)
- 8/28 ガバナー公式訪問合同例会 @ホテル日航熊本

会長報告 (今村浩昭君)

皆さま、こんにちは。まず、うれしいご報告です。西松建設株式会社熊本営業所 所長 近森栄太郎様、真和経営システムズ 代表 真野和生様の 2 名が本日入会されました。のちほど自己紹介をお願いいたします。

さて、当クラブ 東矢憲一郎会員のご母様様が急逝され、昨日日曜にお通夜、本日 11 時より告別式が執り行われました。新聞発表の方も本日されているかと思いますが、皆さまへの通知が遅くなりまして申し訳ありません。クラブより弔電と供花、香典をお渡ししておりますのでご報告申し上げます。

定例理事会報告 (今村浩昭君)

1. 田代文明会員の退会について ⇒承認されました。
2. 田中靖昭様の入会について ⇒承認されました。
3. 2017-18年度姉妹クラブ特別会計について ⇒全会員10,000円の特別寄付が承認されました。

4. 外部卓話について

⇒従来通りとすることが承認されました。

5. 60周年実行委員長について

⇒漆島典和会員が承認されました。

6. 地区 IAC 台湾交流について

⇒参加費用の半額をクラブ負担とすることが承認されました。(IAC 委員会予算より)

7. 暑気払いについて

⇒8/7 (月) 開催。台北大同扶輪社、熊本南 RAC、寿崎奨学生参加が承認されました。

例会変更のお知らせ

○水前寺公園 RC~親睦会のため場所変更

[日 程] 7月26日(水)18:30~

[場 所] 未定

○りんどう RC～合同例会のため日程場所変更

[変更前] 7月27日(木)13:00～

[変更後] 7月25日(火)19:00～

[場 所] 地域総研

幹事報告(玉田光識君)

- 1.2720JapanO.K.ロータリーE クラブより「メーカーキャップ料についてのご案内」が届いております。
- 2.例会終了後「定例理事会」を開催いたします。関係各位はご参加をお願いいたします。
- 3.本日 19:00 より(食事 18:30～)クラブ協議会を開催いたします。関係各位はご参加をお願いいたします。
- 4.来週(7/17)例会は祝日のため休会です。次回は 7/24(月)12:30～です。ご注意ください。

出席報告 (金井昌道君)

会員数	出席数	出席率	前々回 修正出席率
63名	43名	74.14%	83.05%
出席規定適用免除者 4名		欠席記録免除者 1名	
名誉会員 0名(会員数には含まれません)			

◆新入会員自己紹介 1回目 (近森栄太郎君)



氏名：近森栄太郎君
(ちかもり えいたろう)
生年月日：昭和43年2月26日
勤務先：西松建設(株)熊本営業所
推薦者：久峨章義君・漆島典和君

◆新入会員自己紹介 1回目 (真野和生君)



氏名：真野和生君
(まの かずお)
生年月日：昭和23年10月19日
勤務先：真和経営システムズ
推薦者：野口泰則君・漆島典和君

◆新入会員自己紹介 2回目 (吉本裕名君)



皆さま、こんにちは。先週7/3に漆島直前会長にご推薦いただき、入会しました吉本です。皆さまと交流を深めて参りたいと思いますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

委員会報告

●雑誌委員会 (向臺行雄君)



皆さま、こんにちは。今年度、雑誌委員会委員長を仰せつかりました向臺でございます。何分ロータリー歴2年の未熟者で至らぬ点が多々あるかと思いますが精一杯努めて参りたいと存じますので何卒よろしくお願い申し上げます。それでは、今月のロータリーの友のご紹介をさせていただきます。今月は新役員就任の月となります。先ずは、横書きのP.3をご覧ください。今年度のロータリーの友の編集目標の記載がございます。6点を重点的に編集変更されます。1点目が表紙の変更です。イラストで表紙が飾ります。2点目「New Generation」の連載開始。3点目「私の一冊」の連載開始。4点目「声」の開始。読者、投稿者、友委員会のコミュニケーションの場として設けられます。5点目「クラブを訪ねて」コーナーの継続。6点目「その他」として①～④の項目追加があります。

さて、P.7～P.19にかけて、「イアンH.S.ライズリー」RI会長のメッセージがあります。まずは、2017-18年度RIテーマは「ロータリー：変化をもたらす」です。P.7には「持続可能な奉仕の究極」の方針を掲げておられます。上段のところで、3つの戦略的優先項目を指針として行動するとあります。「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「ロータリーの公共イメージと認知度の向上」です。「クラブのサポート」にはオンラインツールの大幅改善、「クラブの強化」については、男女バランスと平均年齢の課題に対して次世代のために知識豊富なリーダー育成の必要を説いております。下段には、「持続可能性」「持続可能な奉仕」の必要性が書かれております。つまり、井戸を作るだけでなく維持修繕を、診療所を作ればロータリーの支援に頼らない経営を、ポリオについては抑制ではなく撲滅です。P.11～P.17にかけてライズリー会長のロータリアンとしての歴史等が記載されておりますのでお読みください。P.19をお願いします。先程もお伝えしましたが、テーマは「変化をもたらす」です。左側中段に「私にとってロータリーとは」は「どのような団体か」ではなく「何をしているか」と定義されております。そして左側下段に「ロータリーとは何ですか」という問いに「私たちは行動をもって答えます。奉仕を通じて変化をもたらすことによって」とテーマを表現されております。そして、テーマを選んだ理由として、右側下段に「奉仕を通じて人びとの人生に変化をもたらせると信じているから」とあります。続いて、P.20～P.37にかけて「ガバナーの横顔」が掲載されております。我が第2720地区永田壮一ガバナーはP.36に掲載されております。熊本地震ではご自身の病院

が全壊されたうえに、上益城圏域災害医療本部長として孤軍奮闘され本当に大変であったことが分かります。地区のロータリーを「ロータリーを奨励し、ロータリーを楽しもう」とされており。P. 40 には 2016-18 年度国際ロータリー理事の「2 年目を迎えるにあたり」、P. 41 には 2017-19 年度国際ロータリー理事の「理事就任にあたって」の記事が掲載されています。P. 42 には米山記念奨学会理事長の「財団設立 50 周年を迎えて」、P. 43 にはロータリー文庫運営委員会委員長の「ロータリー情報の宝庫」が掲載されています。P. 44 は「ロータリー日本 100 年史の発刊 (2020 年)」が掲載されています。そして、今年度から P. 45 に「New Generation」が紹介されています。続いて、縦書きに移ります。P. 9~P. 12 にかけて、熊本りんどう RC が紹介されています。震源地の益城町を拠点において、21 名の会員、平均年齢 49.44 歳、第 2720 地区で最も新しいクラブだそうです。地震のあと、11 月に創立 10 周年記念式典が挙行されました。P. 18 には新たなコーナーの「私の一冊」が掲載されています。そして、P. 23 には熊本東 RC の卓球大会の記事が掲載されています。

●親睦活動委員会 (坂本幸樹君)

〔誕生祝〕

倉崎保広君 7.11
 吉本栄一君 7.17
 杉光定則君 7.17
 星野誠之君 7.23
 金井昌道君 7.27
 鎌田 剛君 7.31

〔結婚祝〕

該当者なし



〔誕生祝〕

●スマイルボックス (山下洋一郎君)

○盧麗娜様 (熊本中央 RC)

今村会長、就任おめでとうございます。会長のご活躍を期待しております。

○今村浩昭君・齊藤直信君・玉田光識君・喜讀宣友君

杉光定則君・森本康文君・告坂和紀君

真野和生様、近森栄太郎様の入会を心より歓迎いたします。

また、熊本中央RC盧麗娜様のご来訪を歓迎いたします。

○野口泰則君・堀川貴史君・藤見泰之君

真野和生さんと近森栄太郎さんの入会を歓迎してスマイルします。また、熊本中央RC 盧麗娜さんのご来訪を心より歓迎いたします。

○漆島典和君・坂本研一君・田川憲生君・古財良一君

坂本幸樹君・北口 誠君

本日より入会されました近森栄太郎さん、真野和生さんを歓迎いたします。また、熊本中央RC 盧麗娜様を心の底から歓迎いたします。昨夜は興奮して眠れませんでした。

○寿崎 肇君

漆島直前会長はじめ前年度役員の皆さま、大変ご苦労さまでした。今村会長はじめ今年度役員の皆さま、笑顔で頑張るとのご挨拶は、ジャパネットたかたの社長のように300%頑張るとの意味だと思います。会員70名是非お願いします。7/8 (土) 寿屋OB会総会に100人弱集まりました。みんな一國一城の主でした。大変楽しいひと時でした。

●常任委員長就任挨拶

○会員維持増強委員長 (吉永彰一君)



皆さま、こんにちは。今年度会員維持増強委員長を仰せついております、吉永です。会員増強もですが、毎年新しく入会されても残念ながら退会される方もいらっしゃいますので、今年度は維持に力を入れていきたいと思っております。坂本幸樹副委員長、後藤 博委員、久峨章義委員、東矢憲一郎委員のメンバーで1年間頑張ってお参りますので、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

○クラブ広報委員長 (大津英敬君)



今年度、広報委員長を任せて頂きました大津でございます。職業分類は広告制作です。ロータリーの事はまだまだ勉強不足で、分からない事づくしではございますが、当クラブのお役に立てるよう取り組んで参りますので、宜しくお願ひ致します。さて、広報委員会の活動としましては、例年の通りの3つの事柄に加え、新たに一つだけ願ひする事が御座います。1. 週報の発行⇒事務局東さんと連携をし、発行を行ってまいります。2. ロータリーの友への寄稿⇒当クラブが行う対外的事業に関してロータリーの友への寄稿を行いたいと思ひます。3. FBでの活動報告⇒従来の委員会からの報告に加え、イベントなどに参加された方々それぞれに、タイムリーな書込など、自由に積極的に利用して頂き、活性可をはかれればと思ひます。そして、今年度からの願ひは、マイロータリーの登録です。マイロータリーとは、クラブ運営に必要な情報やデータを入手できる、便利なウェブサイトです。2720地区の登録目標は50パーセントですが、17パーセントが現状です。登録には間違え安い箇所がありますので、登録説明の準備が揃いましたら、皆さんにお知らせして登録を促したいと思ひます。行き届かない点が多々あるかとは思ひますが、皆様のご協力宜しくお願ひいたします。

○クラブ管理運営委員長（倉崎保広君）

今年度クラブ管理運営委員長を拝命いたしました、倉崎です。出席委員会、プログラム委員会、スマイル委員会、親睦活動委員会と連携を密にして、1年間楽しい例会、楽しい親睦活動を目指し各委員会とともに頑張っていきたいと思っております。1年間よろしくお願いたします。

○奉仕プロジェクト委員長（喜讀宣友君）



本年度、奉仕プロジェクト委員長を拝命しました喜讀宣友です。ロータリー歴は11年8か月、職業分類は建物解体です。これまでいくつかの委員長を拝命しましたが、奉仕プロジェクト委員長は初めてです。それもそのはずで、この委員会は当熊本南ロータリークラブにおいては、会長エレクトが拝命するというのが慣例となっているからです。ロータリーの五大奉仕のうち一番目のクラブ奉仕は倉崎幹事エレクトに担当して頂き、クラブの内向きの部分、特にクラブ内の奉仕活動の原点である親睦の部分をしっかり深め、例会等で奉仕の理想を求めていただければと思います。ロータリーの発展史が示すように、まずはじめに親睦があり、そこから職業奉仕が生まれ、社会奉仕に展開し、さらに国際奉仕が育っています。その指導力養成など新世代に対する奉仕が青少年奉仕であり、その残り4つの奉仕部門、ロータリーの外に向けての部分私を担当させていただきます。最初に職業奉仕委員会 永井委員長にはロータリーの金看板、他の団体にはない奉仕分野を担当して頂きます。「四つのテスト」に照らした職業奉仕の精神に基づく事業展開と、会員同士でのビジネスという実利的な部分も含めた活動を考えて頂ければと思います。社会奉仕委員会 古財委員長。一般的にはロータリーは、社会奉仕をする団体というように受け取られ、ロータリアン自身もそう考える向きが多いようです。そう考えると最も重要で、はっきりした信念を持って当たっていかねばなりません。そういう意味でも古財委員長は適任だと思います。社会奉仕は、職業奉仕の理想を広く社会生活に展開したものです。職業奉仕は自己の職場という舞台があるので比較的取り組みやすいところもありますが、社会奉仕となると、あまりに範囲が広すぎて何を切り口にしていかが難しい面もあります。継続的にされているオハイオも一つの切り口であるし、他にも今、何が求められているかを考えて事業に当たられればと思います。国際奉仕委員会 坂本幸樹委員長。ロータリーが社会の共感を得て、力が充実にきた結果、花開いたのが国際奉仕。それゆえ国際奉仕は、ロータリーの花と言われます。しかしそれだけに高嶺の花のきらいもあります。当クラブでは、昨年まで10年間やり続けたタイププロジェクトが一応の終結をみました。60周年を迎える今期、更なる海外に向けての社会奉仕、すなわち世界社会奉仕の方向性を定める必要があると考えます。単年度の積み

重ねてはありますが、更なる10年の計を模索して頂ければと考えます。姉妹クラブ委員会 馬場委員長。本年は受け入れの年となりますが、経験上、台湾と同じようには到底できないと思いますが、当クラブなりの真心のこもったおもてなしを考えていただければと考えます。青少年奉仕委員会 丸山委員長。ロータリーは従来奉仕の理想を成年、ある程度成功した社会人に浸透させるよう努力してきましたが、それでは遅すぎるという考えから登場してきたのが第五番目の青少年奉仕です。ローターアクト、インターアクト両委員会のロータリープログラムを通じて若者に好ましい変化がみられるよう監督、指導して頂ければと考えます。ローターアクト委員会 井上雅文委員長。18歳から30歳までの青少年が対象であり職業人が多いので、その点でロータリアンと共通の場があり話が通じやすい部分も多いので、職業奉仕などを念頭に「奉仕を通じての親睦」を図っていただければと考えます。インターアクト委員会 藤見委員長。12歳から18歳までの若者、特に日本では高校生が主流で、当クラブは国府高校を受け持ちます。まずは「ロータリアンは青少年の模範」として青少年の健全育成に努めて頂ければと思います。ロータリー寿崎奨学会委員会 園田委員長。全世界のロータリークラブを見渡しても当クラブにしか存在しない委員会であり、他に誇れるものです。時代と共に原資も減り役割も変わってきていますが、今現在できるベストに近いものを模索して運営していただければと考えます。米山奨学会委員会 森本委員長。独自の奨学金制度を持つ当クラブとしては、いささか積極的でない部分もありますが、日本のロータリアンとしてこの事業を考えていくことが重要だと考えます。以上の委員会を担当させていただきますが、ロータリーが行う奉仕活動は、それ自体が目的というよりは、むしろ奉仕活動の実地訓練をさせるようなものです。現在の私の位置は、リレーのバトンの受け渡しゾーンだと思います。今村会長が全力で走ってくるスピードを落とさずバトンをもらえるようしっかりとした助走をしたいと思っています。この一年間よろしくお願致します。

○ロータリー財団委員長（原 裕一君）



皆さま、こんにちは。本年度ロータリー財団委員長を仰せつかりました、原です。前年度、前々年度に引き続いてのロータリー財団委員長です。地区補助金やポリオ撲滅、さらにロータリー財団は今年100周年を迎えますので、クラブとしても何かできればと思っています。また、米国の有名テレビ局CNBCによる毎年恒例の「Top 10 Charities Changing the World in 2016」（2016年に世界を変えた慈善団体トップ10）において、その第3位にロータリー財団が選ばれておりますのでご紹介いたします。今年1年間どうぞよろしくお願申し上げます。